

＜対策のポイント＞

農林水産業の競争力強化に向けて、**農林漁業者等のニーズを踏まえ目標を明確にしたスマート農業技術等の技術開発を推進**します。

＜政策目標＞

- 現場ニーズを踏まえた技術を開発し、開発した技術を農林漁業者等が実践 [平成35年度まで]
- 中長期的な視点で取り組む技術開発を推進することにより農林水産業の生産性向上・収益力向上・コスト削減等を実現 [平成35年度まで]

＜事業の内容＞

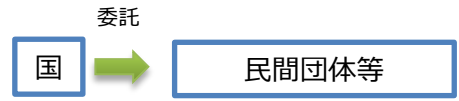
1. 現場ニーズ対応型研究

- **農林漁業者等のニーズを踏まえた明確な研究目標の下、農林漁業者、大学、研究機関、民間企業がチームを組んで行う、農林漁業者等への実装までを視野に入れたスマート農業技術等の技術開発**を推進します。

2. 基礎的・先導的研究

- **AIを活用した病害虫の早期診断など、国が中長期的な視点で取り組むイノベーションの創出に向けた技術開発**を推進します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

現場ニーズ対応型研究

＜事業の流れ＞

- ① 現場で困っている技術的課題を把握
- ② 明確な開発目標を定めた研究課題を設定
- ③ 農林漁業者、企業、研究機関等がチームを組んだ技術開発を実施

＜研究課題例＞

- ドローン等を活用した栽培管理効率化・安定生産技術を開発
- 直播栽培拡大のための雑草イネ等難防除雑草の省力的防除技術を開発

- 繋ぎ牛舎でも利用できる高度な搾乳システムを開発



搾乳機能を高度化させた機器等を開発

基礎的・先導的研究

＜事業の流れ＞

- ① 国が中長期的な視点で取り組むべき研究課題について、専門家等の意見を踏まえ策定
- ② 農林水産物等の生産などに変革をもたらす技術開発を実施

＜研究課題例＞

- ゲノム編集技術を活用した農作物品種・育種素材を開発

- AIを活用した病害虫早期診断技術を開発

